

地域連携推進会議

令和 8年 3月19日 (木)

施設長	副施設長	サビ管	支 援	看 護	栄 養	リハビリ	リネン	記録者
								相談支援専門員

参加者	施設職員3名（施設長・サービス管理責任者・相談支援専門員） 構成員 3 名（地域代表 1 名、利用者家族代表 1 名、利用者代表 1 名）
-----	--

内容	1. 施設長挨拶 地域住民との関係構築、施設および利用者への理解促進、ならびに支援サービスのさらなる向上を目的とし、忌憚のない意見をいただきたい旨の挨拶があった。 2. 構成員および職員の紹介（略） 3. 議題 ① 施設等・地域連携 《施設の概要および利用者の状況説明について》（担当：相談支援専門員） 令和7年度の利用者変動、属性（性別・年齢・居住地）、障害特性、医療的ケアの状況、日中活動および短期入所の利用状況について資料に基づき報告。 【主な質疑応答・意見】 地域関係者A： 令和7年度から地域連携推進会議の開催が義務化された背景は？ 相談支援専門員： 施設やグループホームの閉鎖性を解消し、外部の目を入れることで「風通しの良い組織」を作るため。虐待防止やサービス品質の維持・向上を目的としている。 地域関係者A： 利用者が入所に至る主なきっかけは？ 相談支援専門員： 主介護者の高齢化により、在宅介護の継続が困難になるケースが比較的多い。 地域関係者A： 入院の主な原因は何か？ サービス管理責任者： 近年の事例では、感染症（新型コロナウイルス等）の後遺症から肺炎を併発し、入院に至ったケースがある。 家族B： 弟が入院した際、職員が夜遅くまで付き添いや手続きに対応してくれた。日頃から迅速に連絡をいただけるので、非常に安心している。 地域関係者A： 食事の提供体制と、昨今の物価高騰への対応は？ サービス管理責任者： 外部委託だが、季節メニューやご当地メニューなど食の充実に注力している。食材費高騰の影響はあるが、工夫を凝らして満足度の高い食事を提供し続けたい。 家族B： 喫食状況（食べ残し等）を確認することは可能か。
----	--

サービス管理責任者： 毎食の摂取状況を記録している。ご希望があればいつでも共有可能である。

地域関係者A： 利用料金の仕組みはどうなっているか。

サービス管理責任者： 本人の収入に応じ、市町村が決定する自己負担額がある。主な実費負担は食費・光熱水費だが、低所得者に対しては市町村からの補足給付（補助）があるため、それを差し引いた金額となる。

地域関係者A： 生活目標はどのように決定しているのか。

サービス管理責任者： 個別の生活実態や障害特性に基づきアセスメントを実施し、本人・家族の意向を反映した「個別支援計画」を作成している。年2回のモニタリングを通じて達成状況を確認し、必要に応じて見直している。

家族B： 計画書やモニタリング報告書が定期的に送付され、内容を確認して署名している。施設の様子が伝わり、安心感につながっている。

② サービスの透明性

《利用者の日常生活について》（担当：サービス管理責任者）
日課、食事、排泄、入浴、余暇活動、健康管理等の支援内容を説明。

《BCP（業務継続計画）の策定状況について》（担当：相談支援専門員）
BCP策定の義務化に伴う研修・訓練の実施状況を報告。備蓄品として、利用者・職員以外の分も含め、30人×3日程度の非常食を確保していることを説明。

③ 利用者の権利擁護

《虐待防止について》（担当：相談支援専門員）
令和7年度の虐待防止委員会の活動状況（研修実施等）について報告。

《支援の質の向上とチーム支援》（担当：サービス管理責任者）
担当制の導入、専門職（看護師・作業療法士等）の配置、福祉機器の活用による安全性向上と職員の負担軽減への取り組みについて説明。

《意思決定支援と地域移行への対応》（担当：サービス管理責任者）
令和8年度より義務化される「地域生活への移行に関する意向確認」について説明。本人の希望に沿ったサービス選択を支援する体制を構築中である旨を報告。

【質疑応答】

家族B： 国の方針で地域移行が進むと、施設を出ていかなければならないのか？

サービス管理責任者： 強制的に退所を求めるものではない。あくまで本人・家族がどのような生活を望むかを丁寧に聞き取り、共有することが目的。施設生活の継続を希望される場合は、引き続き支援を行う。

相談支援専門員： ご不安を解消するため、利用者・ご家族向けの説明文書を3月中に配布する予定。

4. 意見交換

（利用者代表を交えて）利用者代表より、入所当時の苦労や職員への感謝、現在の生活への満足感が語られた。

利用者要望：「現在の生活には満足しているが、可能であればもう少し静かな環境で生活できれば嬉しい」との意見があった。施設側は、居室環境の調整や共有スペースの使い方についてできる範囲で検討することを回答した。

5. その他

次回開催：令和9年3月予定。

年1回の施設訪問を委員へ依頼。

会議で得た意見を運営に反映させ、引き続き地域に根ざした施設運営に努めることを表明し、閉会した。

以上